



おおねじめ

昭和59年9月号

№.380

町の人口（9月1日現在）

男 4,415人

女 4,907人

計 9,322人

8月1日より10人減

発行 肝属郡大根占町役場 題字町長



本町の最高齢者 100歳！

神川新町 今熊イセさん

70歳以上79歳まで	796人
80 " 89 "	298人
90 歳 以 上	26人

本町の早期水稲の収穫時期に台風十号と長雨等により穂発芽や雨腐れで大きな被害を受けました。

被害状況は早期水稲作付面積百ヘクタールのうち二十パーセント、早期陸稲八十ヘクタールのうち四十パーセント、金額にして、約四千六百八十二万二千円の被害がありました。

予想以上、早期陸稲に被害が多くなった原因は、早期陸稲は水稲に比べて、発芽が早いということです。

穂発芽や雨腐れで 水稲・陸稲に被害!



倒れた稲を刈る農家の人々



穂から芽と根が...

陸稲は宿利原校区や池田校区が多く植えられています。

一方、大根占校区でも早期水稲の穂倒れやかげ干しから芽が出る最悪の状態になりました。

農作業をしている方々にたずねると「今年は豊作を確信していたのに残念」と頭をいためていました。



大きくって帰ってきてチョウダイ、

マダイ六万匹を放流

鹿児島湾マダイ放流事業

鹿児島湾をマダイの宝庫にしようと鹿児島湾マダイ放流祭が八月一日、県下のトップをきつて、本町で開催されました。

これには県商工水産課をはじめ、大根占漁協、指導関係者が出席して、本町の城ヶ崎沖約三百メートルのところで約六万匹のマダイ

むら自慢づくり
キャラバン隊が来町

八月三十日、農村振興むら自慢づくりを推めるために、そのキャラバン隊一行が鎌田要人県知事のメッセージを持って本町をおとづれました。

この日、農業委員や農業関係者、役場職員の見守る中で知事のメッセージが県農村振興課長から川邊町長に手渡されました。

むら自慢づくりは農村振興運動の一環として、個性豊かな、他に誇り得るもの」として、み



メッセージ伝達式

んなで知恵と力を出し合い、価値を高めて、他のむらよりすぐれたものを創り出していこうとする運動です。

〈本町のむら自慢〉

- ◎農産物
キヌザヤエンドウ、早堀りばれいしよ、たばこ、加工用大根茶、肉用牛
- ◎特産品
焼酎、屋久杉工芸品、ボンカアー酒
- ◎伝統芸能
棒おどり、ゼニ太鼓、田植祭
- ◎名所・旧跡
神川大滝、町民の森、大楠

の稚魚の放流が行われました。

このマダイの稚魚は県栽培漁業センターで生産された〇・三から〇・四グラムのマダイを山川で五十日間中間育成し約五グラムから七グラムまで育成したものを放流し、その中でも、一万五千匹は標識を付けて放流しました。

この放流マダイが二年をへて帰ってくるころには十五センチ以上になって帰ってくるでしょう。

町漁協からのおねがいは、この標識マダイを釣った方は標識と形・重量、とれた場所等を町漁協にご連絡ください。

日本は台風の通り道 年に平均三つはやってくる

日本は台風の通り道です。過去三十二年間の記録を見ても、一年間に平均三つの台風が上陸しており、一つも上陸しなかった年はありません。

できることなら、台風とは顔を合わせたくない——と思っただけでも、相手は「天災」。日本に住む以上、わたしたちは台風について勉強しておく必要があるようです。

右側で 強い風が吹く

台風は大きな低気圧の一種で、中心の気圧はその周りに比べて



波が堤防をこえる神之浜海岸

極端に低くなっています。このため、周りの空気は、気圧の低い台風の中心に向かって勢いよく流れ込む。これが台風の強い風なのです。

また、一般に台風の進行方向の右側と左側では、風の強さが

台風災害を 防ぐために

- 家の外の備え
窓や雨戸はしっかりカギをかけ、必要なら棧を打ちつける
- 下水や溝が詰まらないように掃除しておく
- テレビアンテナは、針金でしっかりと固定しておく
- 家の中の備え
ガラス窓が割れないようにテープを張っておく
- 窓にはカーテンを引いておく
- 台風情報に注意
台風が近づくと、台風情報や注意報、警報などが次々に発表されるので、ラジオやテレビ

違います。これは、台風が時計と逆まわりの大きな空気のうずになっているからです。台風の右側は台風自身のうず、巻く流れと台風を進める流れが重なって、強い風が吹きます。一方、台風の左側は、うずの流れと台風自身の進む方向が逆になるので、右側と比べると一般に風速は弱くなります。北上する台風があるたの住んでいる場所の西側を通過するときは、東側を通るときに比べて強い風が予想されまので注意しましょう。

高潮三つの 特徴

- 高潮には次の三つの特徴があります。
- ①遠浅で南に開いた湾に起こりやすい
- 高潮には、起こりやすい場所があります。太平洋沿岸では東京湾、伊勢湾、大阪湾、また瀬戸内海や九州の有明海などです。

ビなどで最も新しい情報を聞く
非常用品の準備
●懐中電灯、携帯用ラジオ、水筒、非常食、救急薬品、下着などを用意する。

避難の準備
●避難場所、道順、避難命令の伝達方法、協力体制などについて、家族や隣近所と確認し合う

避難上の注意
●危険を感じたり、防災機関などから避難命令のあったときは、その指示に従い、すばやく避難する

●火の元に注意して、しっかり火の始末をしておく

●身じたくを整えて、持ち物は最小限にする

●勝手な判断や行動をせず、正しい情報を聞いて指導者の指示に従う

被爆者健康手帳の交付申請

県では、原子爆弾被爆者の医療等に関する法律に基づき、広島市、長崎市で被爆された方々に対しては、まだ手帳を持っていない方は申請してください。

詳しくは県庁医務課か鹿児島保健所にお尋ねください。

県庁医務課
0992(26)8111
内線2516・2517
鹿児島保健所
09944(3)3121

これらの湾に共通して言えるのは、遠浅で南に開いていることです。

そのため、台風による南寄りの風で海水が吹き寄せられ、波やうねりの影響も受けやすいのです。

②台風の中心が湾の西側を通過するとき、激しい

台風の風は左巻き（時計と逆まわり）です。湾口が南に向いている所で北上する台風が湾の西側を通るとき、高潮の危険は高くなります。強い南寄りの風の影響で高い波やうねりが湾の奥へ押し寄せるからです。

③満潮時にはいっそう注意

満ち潮で海面が一番高くなっているときに、台風の影響が加われば、高潮の被害も大きくなります。

フィールド・アスレチックに挑戦

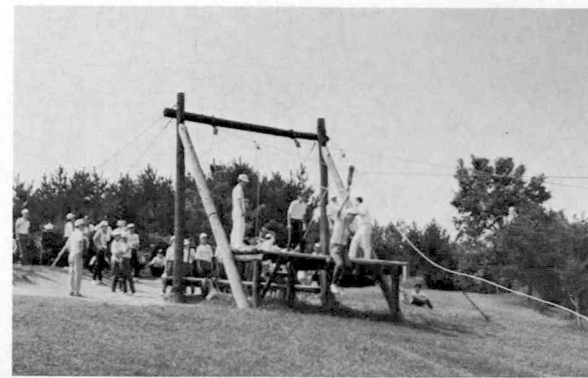
中学二年生合同宿泊研修

本町の中学二年生（約百三十人）が八月二日と三日の両日、県青少年センターで合同宿泊研修を行いました。

この行事は社会教育課が主催し、本町の二年生全員が同じ場所に集まり、集団生活を通して友情を深め、かつ規律正しい生活態度を身につけることを目的としています。

二日の早朝、その出発式が中央公民館前で行われ、まず、町長が、「この研修を通して、友情を深めてください」と激励しました。それに答えて、神川中学校の隈元知美さんが生徒を代表して「元気に勉強してきます」とのべました。

一日目は、自然の中でフィールド・アスレチックに挑戦し、悪戦苦闘、夜は、灯の集いで心の訓練、そして、食事は全員一緒にわきあいあい——

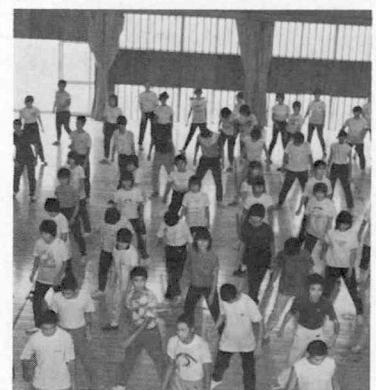


大自然にいどむ生徒



二日目は朝六時に起床して、朝のつどい、静思、オリエンテーリングを行ない、家庭とは一味違った体験をしました。

夏休みに級友と フォークダンス 夏休みふるさと大会



みんなでフォークダンス

親子で読書を楽しむ

第3回緑陰読書大会



八月二十六日、夏休み最後の日曜日、町中央公民館と町子連の合同主催による「第三回緑陰読書大会」が町福祉センターで町内から約五十人の親子が参加して行われました。

この日は天候が悪く、松崎海岸から町福祉センターに変更されたものです。

まず町社会教育課長が「活字ばなれの中で、親子で本を読む

本町の高校生が集う「夏休みふるさと大会」が八月十九日、風雨の中、町福祉センターで二百五十人が集まり行われました。この大会は中学校卒業後、それぞれいくつかの高校に分散して進学している高校生が地域単位にグループを組織して仲間づくりや奉仕活動、スポーツ活動を行なうことを目的として、高校生父母連絡会と社会教育課の合同主催で開催されました。

午前中はレクリエーションとしてフォークダンスを踊り、最初はテレビで踊る生徒が少なかったが、あとからだんだん集まり最後のダンスは全員参加して、立派な高校生ぶりをみせました。そのあと、母親等の手作り、「おにぎり」を食べました。

午後からは各校区に別れて、バレーボール大会を行い珍プレー、ハッスルプレーが続出いたしました。

この意義、つまり、本を読むことにより、親子の対話をはかり、心のふれあいを作ってほしい」とあいさつ、それにひきつづき、親子による読書、指導員による紙芝居、スイカ割り、ゲームを行い楽しくすごしました。

そのあと、昼食は母親と子どもによるカレーライス作りに取りかかり、そのできばえをみんなと一緒に味わい、この行事を終了しました。

暑い夏を吹き飛ばす 青年団納涼大会

暑く暑い夏の夜を吹き飛ばすかのごとく、毎年八月に入ると各校区青年団主催による納涼大会が始まります。

この納涼大会は年に一度、青年団の総決算として、また青年団活動の中で一番派手な行事です。

またこの行事は婦人会や振興会の助言・援助をもらい地域ぐるみの夏祭りとなりつつあります。

その中で四校区のトップを切つて、城元青年団の納涼大会が

すずしろの里も 盛大に納涼大会を開く



はりきって踊る団員



園生も楽しむ

八月四日、身体障害者療護施設「すずしろの里」（園長長浜セイコ、園生五十五人）では肝属郡医師会立病院の職員とライオンズクラブの協力をもらい、盛大に納涼大会を行いました。

この納涼大会は今回で十回を迎え、園生の演奏や職員の踊りをはじめ、多種多細の芸や子どもたちの早稲み競争など、観客五百人を楽しませました。

ふるさと 伝説と民話



毛下部落の巻Ⅱ

杉宮の伝説 部落の中央鎮守の社の毛下村に面積二十五アールの屋敷跡がある。屋敷の中央に供養の石塔とさらに東の一隅にカヤブキの祠があつて、ここを部落民は杉宮殿と呼ぶ。昔からこの屋敷跡には人は住めない場所として、屋敷にまつわる悲しい物語りが伝わっている。昔この屋敷に一人の女中がいた。絶世の美人で主人の寵愛を受けるうち、だんだん親密の度合がまし、遂に人目になつようになつた。人の噂に上るようになれば、当然夫人の耳にも入り、嫉妬と

虐待に明け暮れる身になった。ある日近くを流れる小川に洗物に行き、かごの底に杉の葉を敷き、その上に茶わんをのせて帰宅した。杉の葉を捨てたところが、屋敷の垣に差したところ。一方、夫人の怒りは日増しにつのるばかりで、彼女は毎晩床の中で涙にくれながらも、主人に対する愛情はつるばかりだった。ある夜夫人は一策を案じた。しかし彼女が魂はこの屋敷をあきらめきれず、かつて自分が植えた杉の木にたよって、主人をしたたかたという。



供養の石塔

その後この屋敷はなくなつたが、杉の木は樹齢も計り知れない大木となり、枝は屋敷いっばいに広がり、一の枝は小川を越えて向う岸の畑まで伸びた。この杉枝のため農耕のさまたげになるので、明治の中期ごろ部落で協議して、杉を売却することにした。老木は伐採したが部落では女のたたりを恐れ、屋敷の一隅に、祠を建ててい福を祈つたという。さらに屋敷跡に供養塔を立て、弥陀薬師観音の三像を安置したが、十数年前から三像は行方不明となつた。現在は燈明石に明治三十年五月吉日の記名が残っている。

俳句

大根占町文化協会
俳句同好会

夜も更け縫ひ上りたり青葉木菟
出来たかとそとと蓋とる梅酒哉
夏秋のはや咲く峡のしづけきに
香水に古い記憶の香をたどり
巡り来る山見んと出づる老母なり
桶の花こぼれ小川に添ひゆけり

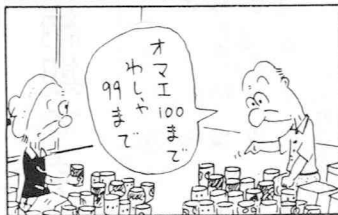
山元 秀女
厚ヶ瀬喜代
迫田 大麓
原田つる代
中村 尚幸
山元 楠風

香水に凡そ縁なき田舎住み
日焼けた工夫の太き腕かな
娘の笑みて香水胸につけられぬ
朝蟬やゲートボールの初体験
蛇かき追かける子に逃げる子等
蛇の尾のしばし止まり草に消ゆ

山元 秀女
原口マサ子
前田ミカサ
愛甲 充
上久保 睦
池田 木花

さわやか君

西村 宗



若い世代に伝えてください おじいちゃん、おばあちゃんの 知恵と経験

敬老の日／9月15日 老人福祉週間／9月15日～9月21日



和ダンスを作る老人

本町の六十五歳以上のお年寄りは千六百三十人で町人口の約十七・四パーセント(百人のうち十七人)を占めています。この割合は今後ますます増加すると考えます。

お年寄りの役割

昔のお年寄りは「知恵袋」とか「生き字引き」と呼ばれて大切にされていたものです。しかし、今マスコミの発達などでお年寄りの「生き字引き」的な価値は薄れてしまったかもしません。しかし、お年寄りが家庭や社会にとって、大切な存在であることには変わりありません。お年寄りには経験に裏打ちされた思慮深さや冷静に物事を見極める目があります。こうした

お年寄りならではの持ち味や特徴を、家庭や地域社会で、もつと役立たせてほしいものです。アメリカの社会学者ハビガーストは、老人には三種類の役割がある、と言っています。その一つは、職業上の役割や家庭での親としての役割などのように、年をとるとだんだん小さくなっていく役割です。二つめは、投票の義務とか社会のことに関心を持ち続けることなどのように、年をとっても変わることはない役割です。

家庭で社会で 活躍の場を

「能あるタカは爪を隠す」ということわざがあります。しかし持っている知識や技術は、人に与えて初めて価値が生まれるといっても過言ではありません。お年寄りが、自分の知識や技術を「たいしたことではない」と思っている、周りの人から見れば価値あることかもしれません。

特にいまは、核家族と呼ばれる、おじいちゃんやおばあちゃんのない家庭が多くなっています。ですから、育児のコツ、漬物のつくり方などお年寄りにしてみれば当たり前のことも、若い世代には、知られていないことが意外に多いものです。若い世代との交流の場を持つてもう意味でも、地域社会での活動を通じ、お年寄りの持つ「知恵と経験」を若い世代に伝えてもらいましょう。

長寿ベストテン

(59.9.1現在)

1	位	今熊イセク	99	M17, 11, 22	新町
2	〃	上石田キ	96	M20, 12, 10	ホーム
3	〃	小坂チヨマツ	96	M20, 2, 14	ホーム
4	〃	四本銀十	95	M21, 9, 27	本町
5	〃	谷口森助	95	M21, 1, 7	瀬戸山
6	〃	中馬八重	95	M21, 3, 15	落河
7	〃	勝野金助	94	M22, 9, 17	鳥浜
8	〃	落司アキ	94	M22, 2, 15	瀬戸山
9	〃	宮下マサ	94	M22, 2, 26	ふもと
10	〃	有馬繁彦	93	M23, 8, 23	皆倉

投げ捨てられた 空カン6袋分



池田校区内の 一斉清潔検査

池田校区振興会では村づくりと環境保全の一環として校区内の一斉清潔検査と町農道の草払いや側溝清掃を行いました。

一斉の清潔検査は初めての試みで行われた割には好成績を納めました。しかし、振興会長の迫角夫さん等役員は朝早くから夜おそくまで各家庭を廻り、汗だく。これで校区が清く明るくなればうれしとがんばっていらっしゃいました。



ジャンボ七夕登場 城ヶ崎子ども会

城ヶ崎子ども会(育成会長 別府繁男会員13人)では8月7日の早朝、恒例のジャンボ七夕がたてられました。

このジャンボ七夕は10年位前から作られるようになり、ドライバーの目を楽しませています。

池田小全国で22位 交通安全自転車競技大会



交通安全子ども自転車競技大会の全国大会が東京の国際貿易センターで8月2日、3日開かれ、県の代表として本町の池田小チームが参加し、初参加ながら堂々の22位というすばらしい成績をおさめました。また、個人では安水義寿君(6年生)が優秀賞を受賞しました。

『法の日』週間

10月1日～7日

10月1日を「法の日」と定め、国を掌けて法の尊重、基本的人権の擁護、社会秩序の確立の精神を高めるための日としました。裁判所では検察庁、法務局、弁護士会の協力を得て、10月1日から一週間を「法の日」として次の行事を行います。

- (1) 公判の傍聴、裁判所の見学
- (2) 講演会
- (3) 無料法律相談所の開設

なお詳細は

鹿児島市山下町13-33
鹿児島地方・家庭裁判所総務課庶務係
電話09942(22)7121 内線 335・355にお問い合わせください。

共同募金 10月1日～12月31日



集れ、中高年ソフトチーム
ナイターソフトボール大会
対日時 十月十五日から
申込み 四十五歳以上で編成
町ソフトボール協会
(二〇一〇五)一七
教育委員会内

戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません

固定資産税第三期の納期です

善意

町社協へ

社会福祉事業に役立ててくださいと次の方々から、香典返しにかえ寄付がありました。厚くお礼申し上げます、故人のごめい福を祈ります。

遺族名 故人名 部落名
川越 愛蔵 長蔵 大橋下
有川 徹 キミエ 鳥三区
松原タエ子 政雄 塩屋
新久保アグリ 栄 壺崎
木下 幸平 蔵川 北
松元 テル 松次 京町
池田 清 シナエ 大橋下
秋元 フヂ 正治 神川中
長岡 キク 徳太郎 神二区
大園 英蔵 平兵衛 川北
前原 シヅ 正夫 神二区

広報紙の謝礼

東京都福生市在住の
坂元 盛浩さんから金一封
鹿児島市在住の
百枝 重孝さんから金一封
芋ヶ崎市在住の
川越 修さんから金一封

毎週木曜日は心配ごと無料相談が
町老人福祉センターで開かれます。

すずしろの里

高山町の福岡フクさん、大根占町婦人会、大崎町岩元ツルミさん、大根占町社会福祉協議会大根占町の木下ツルさん、伊集院町太陽の里、鹿児島市の海田ヒデさん、鹿屋市の上口ヒミさん、指宿市の坂元重志さん、船橋市の井上須美子さん、串良町徳丸邑さん、垂水市の大坪ミサさん、佐多町の有川逸郎さん、串良町の橋口ナリ子さん、鹿児島市の堤田正治さん、鹿屋市の中牧良次さん、田畑ミツエさん、内村真知子さん、串良町の平山正昭さん、内西サギさん。

愛知県弥富町在住の

皆倉 ゆきさんから金一封

北九州市在住の

大山藤一郎さんから金一封

別府市扇山町在住の

宮園 淳さんから金一封

長崎市在住の

谷口三喜男さんから金一封

兵庫県川西市在住の

白石 公男さんから金一封

大島郡瀬戸内町在住の

垣内 正信さんから金一封